

金の道「相川街道」①

江戸時代に、佐渡は幕府が直轄する天領(幕府領)になりました。

相川が佐渡の行政の中心地となり、佐渡陣屋(佐渡奉行所)が拠点となつて佐渡の隅々まで管轄する体制が整えられたのです。この大きな目的は、皆さんがご存知の通り、近世(安土桃山から江戸時代)初頭に相川の山中に金銀山が開発され、それを管理することでした。



復原された佐渡奉行所

鉱山から産出された上納金銀(御用金)を幕府に送る道。佐渡支配の役人達が江戸と相川を往復する道。幕府からの御用状(公文書)を運ぶ道。さらには、鉱山で働く水替無宿人を運ぶ道。鉱山で使う様々な資材、物資を運ぶ道。そして、5万人とも6万人ともいわれる大都市・相川に暮らす人達の食料や生活用品などを運んだ道。商業の取引や、遊山(観光)、学問などさまざまな目的を持って相川を訪れる人達が歩いた道。まさに今の国道と同じ使命と価値をもった道がここで言う「相川街道」です。

3回というわずかな予定ですが、近世から近代初頭までの道を辿りなが

ら、佐渡の産業、社会生活などについて述べられればと思っておりますので、よろしくお願ひします。

相川街道と言っていますが、江戸時代には「街道」という呼び方は出てきません。その頃の言い方は、例えば「相川道中」「相川往還」「相川道」という方をしていました。明治政府が発行した「皇国地誌」という報告書に「街道」という言い方が見られます。

同じ道でも呼び方が違うことがあります。相川から小木へ行く場合は、豊田までは相川道で、その先は小木道となります。小木から相川へ向かうときは、ずっと相川道です。また、古い道という和一里塚を思い出す方も多いと思います。佐渡での一里塚築造は遅かったようで、大久保長安入国以来およそ50年後になります。相川札の辻を基点にして小木道中では九里八町間に9か所作られました。このうちほぼそのままの形を残しているのは、羽茂地区村山にあります。ほかには崩れてはいるが形が残っているものが3か所あるのみで、あとは消滅しています。



中山の一里塚

◆教育委員会社会教育課

佐渡学センター(佐渡博物館内)

☎ 52-2447

生活情報 さど

「試供品」のはずが定期購入に?

— 通信販売の思わぬ落とし穴にご注意ください —

通信販売で、広告を見て試供品だと思つて申し込んだら、定期的に商品を購入することになってしまったという相談が寄せられています。

相談事例

新聞広告を見て、1回600円でお試しの健康食品を電話で注文したら、数日後代引きで届き、代金を支払い受け取った。1か月後に同じ商品が届いたが、請求書もなかったのが無料だと思い飲んでしまった。さらに1か月後、6千円の振込用紙とともにまた健康食品が送られてきたため、業者に連絡したところ「期日までに断りの電話がなかったので、定期購入になっている。」と言われた。

アドバイス

通信販売を利用する場合は、商品の特徴や価格だけでなく、購入や返品の特典、送られてきた商品に同封された書類などについてもしっかりと確認しましょう。

消費者庁からのお知らせ

「消費者ホットライン」188番の案内開始について

消費生活相談窓口等を案内する「消費者ホットライン」が、7月1日から、3桁の電話番号「188」(嫌や!)になりました。

消費者ホットラインは、消費生活センター等の連絡先をご存知でない消費者の方に、お近くの消費生活相談窓口をご案内します。

消費生活センターの電話番号が分かりになる方は、今までどおり、直接、最寄りの消費生活センターへおかけください。

覚えてください

消費者ホットライン

☎ 1888 (嫌やー泣き寝入り)

お問い合わせ

佐渡市立消費生活センター
(佐和田行政サービスセンター内)

(平日) 午前9時〜午後4時

☎ 57-8143